

高鍋大師花守山 遊歩道案内と今後の計画

No.1 高鍋大師入口～遊歩道へ

①



②



国道10号線から高鍋ICへ続く県道沿いに入口はあります。

①のフォトが目印です！

この目印の石像から入って行くと右側に民家（河野さんのご自宅）がありますが、遠慮されずに進んで下さい。

河野さんは昔からこの場所で生活され嫁いで来られてからもずっと多くの方に使って頂いているので気軽に通って下さいとおっしゃっています。ありがたい事です！

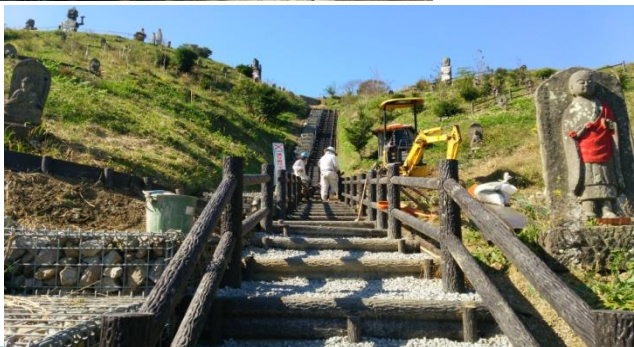
登って行くと、②のフォトに続きます。

No.2 完成！メイン階段

③



④



すると、③手すり付きの階段が出てきます。

この階段は5月の末には完成したのですが、6月4日の大雨の際、頂上から階段を伝って流れだした雨水の勢いは激しく、4つの階段を破壊しました。しかし、このお陰で水の流れを緩やかにし二度と同じ事を繰り返さないための排水工事と階段整備が行なわれています。

④が、ほぼ完成した中央階段です。この階段は高校生の部活やキャンプで訪れる大学・社会人野球部の下半身強化トレーニングに最適で戦績も好調！ウナギ登りならぬ、「階段登り」だそうです。

No.3 完成した遊歩道とロケーション

⑤



⑥



この階段を23段程登ると左手に、⑤1番リュウセイ寺と彫り込まれた石像が見えてきます。ここを基準に高鍋大師八十八ヶ所の石像巡りは始まります。

遊歩道は石像沿いに⑥のフォトのように完成し中央階段を中心に南側斜面に5段の遊歩道ができ勾配のきつい危険な所には11月中に手すりの取り付けを行ない完成となります。

*ここで、①のフォトから順番に左側遊歩道で頂上大師堂を目指すと、その距離は約200m程ですが、つづら折りの坂や所によっては階段があるので、実際の距離より長く感じます。

No.4 2段目遊歩道と植樹祭予定

⑦



⑧



それでは、また遊歩道を案内に戻ります。⑥の遊歩道をゆっくり歩くと次は⑦の階段です。11段の階段を登ると、13番イチノミヤから始まる2段目の遊歩道へと続きます。来年3月に予定されている第4回の植樹祭では、この緩やかに伸びる遊歩道沿いに四季を表現する花木や草花などを植栽し、五感によって季節の訪れを感じていただける様な花木植栽を観光協会景観委員会で検討しています。

その際には、是非皆さんに参加いただきたいと思っています。

No.5 出現しました！遊歩道階段

⑨



⑩



それでは⑨ 3段目、ここはこれまでと違って緩やかな階段です。これを登ると4段目、⑩ここは平坦な通りになっていて、左右には平成24年3月11日「第1回植樹祭」で植栽された花木を間近に見ることができるポイントです。ここまで来ると歩く事になれて何だか楽しい気分になります。

ここからのロケーションを楽しみながらしばし休憩するのも「いいね！」です。

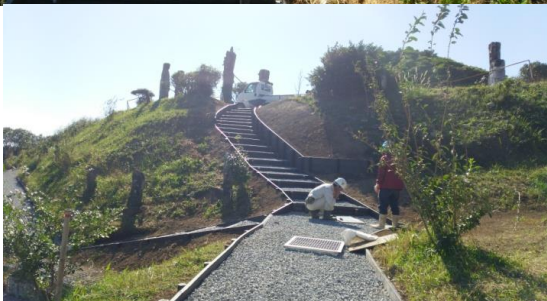
休憩したらもう少しで5段目、それから頂上高鍋大師堂ですよ！

No.6 もうすぐ頂上、高鍋大師堂（ど〜）！

⑪



⑫



⑪ここまで来ると左手に巨大で「プツ」となぜか笑顔になる石像、その名も「正一いいない大神」（正一位稻荷大神）農業の神様が見えてきます。さあ！ラスト28段の階段を登りましょう。と思ったのもつかの間、まだ最後の階段⑫がありました。しかし、28段の階段を登って辿り着いたこの広場は、その昔高鍋大師の行事として相撲大会が行われていたようです。

今ではこの場所に花木が植樹され、その中でも東日本の震災で被害を受けた福島県伊達市梁川町から空輸された由緒あるしだれ桜がお迎えします。（詳細はしだれ桜前の看板に記載）

No.7

⑬



⑭



ここまで来ると本当に最後の階段⑫です。

最後の18段の階段を登ると、とうとう頂上！

⑬の中央、高鍋大師堂と右に「正一いいない大神」（正一位稻荷大神）と左に「百たいふど」（百体不動）が現れます。

ここで、後ろを振り返ると⑭太平洋 日向灘と高鍋の田園風景・九州NO.1の鉄橋などが眼下に広がります。「ああ！登って来て良かった！」と思えることでしょう。

*ちなみに、平成24年12月8日午後3時にあの火野正平さんが自転車で訪問されました。

No.8 頂上までのもう一つのルート！

⑮



⑯



NO.6で紹介した場所から今度は右手に⑮27段の階段があります。

何か上から見られてる様な気になりそっと目線を上げると、⑯の石像が見えます。

「なんじゃこら！」と思ってもう一度見上げるこの石像は、「スサノオノミコト」そう！日本書記・神話伝説に登場する「天照大神（アマテラスオオカミ）」の弟。天照大神は高天原（天界）を治め、スサノオノミコトは海原（海と大地）を治める神様として知られ、ヤマタノオロチを退治した事で有名です。この神様がお迎えします。

No.9 さあ！右階段から頂上です。

⑰



⑰このコンクリートの地面が芝生に変わります。そうするために観光協会では皆さんにご寄附のお願いをしています。

さあ！頂上です。左から登った⑬の風景とまた違った石像が見えてきます。

⑰向かって右が「十一めんくわんのん（十一面観音）」と彫り込まれた石像。左が「十二めんやくし（十二面薬師）」中央奥は先ほどから登場する「天照大神」の巨石像3体がお迎えします。

《ここで、ワンポイント情報です！》

●この巨石像3体がお迎えする広場は、現在コンクリートで地面が覆われていますが、ここを今回の事業で、全面芝生にする予定です。

そうすると子供から年配者の方まで今以上にゆっくりと時を過ごしていただけたと思います。

No.10 頂上の広場を集える場所に！



頂上にたどり着くと⑱の左に見えるのが国指定48号古墳です。この古墳は3世紀後半に造られた前方後円墳で、古墳で有名な西都原古墳は4世紀前半から造られたものだそうで、この点から高鍋持田古墳がどれだけ貴重なものかがわかります。

この古墳の前の広場は地面が荒れていて歩き易いとは言えません。そこで広場に土を入れ芝生等を張って⑲のようにみんなが集える場所にするための工事が12月から始まり総額600万円の工事となります。この工事費も皆さんからお預かりした寄附金と県からの助成金で行なわれます。

No.11 古墳前広場に念願の駐車場です！



この多目的広場には念願の駐車場ができます。

駐車場は、この広場の北側⑳フォートの右側に倉庫や資材が置いてある場所に駐車場は作られます。

駐車場は乗用車30台位が駐車でき、マイクロバスも止める事が可能になります。車を止めたら芝生広場の中に車イスでも移動ができるように遊歩道もつくられ、頂上からのロケーションを楽しみながら散策していただけます。

芝生の中の遊歩道を利用してゆっくり移動して行くと、そこには下のフォト㉑の絶景ポイントに到着です。

No.12、27年度の予定NO.1は！絶景展望 東屋



⑳のフォートの資材置場付近に駐車場はつくられます。

ここからは、遊歩道を歩いて東屋で休憩そこから大師堂へと進む事ができます。

予定では、このロケーションが望める大師堂北側の海が見える場所に来年、27年度に東屋をつくる予定です。このフォトではチョット解りづらいかもしれませんが、正面に日向灘、右手に小丸川、もっと右には高鍋町舎も見え、中々いい風景が楽しめます。ゆったりした気分でお茶を飲むのもよし、お弁当を食べるもよしです。ただ、この

東屋も何処にでもあるような建物じゃなく、この場所だから、この風景だからこそ「なるほど！」と納得して頂けるような東屋をつくろうと計画しています。

どうぞお楽しみに！



●この東屋も皆さんからお預かりする平成27年の寄附金と県の助成金でつくられるため、何とぞご協力をお願いいたします。

*追 伸：県からの助成金は皆さんからの寄付金を2倍した金額が助成金の額となります。（寄付金の額がポイントです！）

No.13 大師堂のもっとも北側遊歩道は！

②②



②③



東屋から北側の10号線を見降ろすと、眼下に北側②②の遊歩道が見えてきます。

この遊歩道も斜面地に階段等を整備した5本の遊歩道でメイン階段②③につながっています。

北側の遊歩道は総距離600m位ですがやはり斜面地につくられており、場所によっては階段もありますので体感距離としては倍以上の約2km位を歩くように思えます。

体感距離としては総距離約3km、天気の良い日この年末年始に、ご自分の好み・ペースで歩いてみてはいかがでしょうか！

No.14 平成27年度 最重要施設はトイレ！

②④



●上記の写真が現在大師堂北側にあるトイレです。

この場所に男性・女性用・体の不自由な方用のトイレを新設します。この工事費も皆さんからお預かりする寄附金と県からの助成金でつくられるため、大変申し訳ありませんが、更なる寄附金によりまずご支援、ご協力をお願いいたします。

●平成27年度では多くのお客様をお迎えするための施設として、最も重要なトイレの新設工事が行なわれます。現在、大師堂の向かって左側に②④トイレはありますが、男性用が1つ、女性用が1つの男女兼用トイレとなっています。また、体の不自由な方用のトイレはありませんので、皆さんが快適に使って頂けるようなトイレをつくります。

また、「高鍋大師花守山」が来年度完成した際には、観光客の方だけではなく保育園・幼稚園をはじめ、小・中・高生の皆さんの校外学習にも広く利用して頂き、子供達の思い出づくりができる場所にするにも最も重要な工事だと言えます。

No.15 階段と遊歩道についてのおさらい！

②⑤



メインの中央階段は93段、中央階段周辺に合計302段、遊歩道距離は約200m。右側は、163段遊歩道距離は約600m。

合計で、総階段数：465段、距離：約800mとなります。

是非、歩いて・登って・体験してみてください。
体力づくりとシェイプアップや気分転換に最適です。



*上の地図が簡単ですが花守山遊歩道の全容です！

高鍋大師は国道10号線の西側に位置し、宮崎方面からだとは高鍋大橋を渡っていると左手に、延岡方面からだとは山椒茶屋高鍋店を過ぎて最初の信号、「高鍋町家床」を右折すると山の上に巨石像が見えてきます。

高鍋町家床から左折（宮崎方面～）・右折（延岡方面～）した道が県道木城・高鍋線（県道304号線）になります。この県道沿いに入口はありますが、入口のすぐ近くには駐車場がありません。この県道304号線は時間帯によっては交通量が多く路肩駐車は非常に危険です。そのため、近くにある大林砂利様の造成地を好意で使わせて頂いていますが、今後大型バスなどを利用して多くのお客様に安心して来ていただくためにはどうしても駐車場は必要です。これから最も重要な問題となります。しかし、今回の事業ではP4のNo.11に上部駐車場をつくります。頂上への案内看板に従って乗用車やマイクロバスはこちらをご利用下さい。残念ですが、大型バスは道路の関係で登る事ができません。現在、大型バスでお客様が見えた場合は観光協会の車と役場の車を使って、高齢者の方や足の不自由な方を頂上まで送迎しています。何かありましたら観光協会までお問い合わせ下さい。

《花守山 遊歩道の歩き方！》 遊歩道は上記、こんな感じで完成しています。

1. 県道木城・高鍋線からの入口

河野さん宅を通り最初の階段まで約70m、そこから真っすぐ伸びる階段は93段です。最初の階段から登って23段目左に、1番リュウセイ寺がありその先11段の階段を登ると13番イチノミヤ、そこから15段登ると12番ショウサンジ、道なりに41段の緩やかな階段を歩くと下から93段上った1回目の休憩ポイントに到着、そこから次に28段を登ると2回目の頂上、しだれ桜がお出迎えし最後に18段登ると頂上高鍋大師堂に到着します。ここまで距離約200m、階段数206段となります。（中央階段は別）

2. 頂上からの案内

P3のNo.8 頂上までのもう1つのルート！で紹介しているルートを今度は下ります。スサノオノミコトから27段下り、次に16段下ると左に、北側1番目の遊歩道へ続きます。緩やかにカーブした遊歩道を歩くと北側にも4段のつづら折り遊歩道があり、頂上の広場に行くルートと一番北側に行くルートがあります。この遊歩道の途中に2段目につながる階段があります。35段の階段を登ると頂上へ、ここから見る日向灘はまた格別です。また、つづら折りの遊歩道を見るにも最適。頂上へ行く途中の9段、次に6段の階段を下り、ちょっと進むと最北端の階段へ出ます。ここは、22段・29段・9段の合計60段の階段を下る事になります。ちょっと！近道をしようと考えれば、頂上広場に行く道から右へ下って下さい。19段下って、次に28段下ると上から3段目の遊歩道に出ます。この道すがら日向灘を見る事は出来ませんが、頂上からとはまた違った風景になります。高鍋の「田園風景と空のあいだに海」が見え、他では味わえない何とも言えない風景に出会えます。

ちょっとここで！

●人は違う風景に出会うと視点が変わり、見えるもの全てに感動を覚えます。なんてネ！そんな気持ちになれるのが花守山遊歩道です。

それでは、8行目、「3段目の遊歩道に出ます。」へ戻ります。

遊歩道を中央階段へ向かうと、2段のスロープ階段、しばらく歩き22段の階段・16段の階段を下りると中央階段に戻ります。近道した階段を北に進んで9段の階段を下りると一番下の遊歩道に辿りつき、道なりに進むと緩やかな4段の階段を通り過ぎゆったりと遊歩道は続きます。ここから頂上の石像を下から眺めるのも中々おつなものです。これが1回目の遊歩道探検です。後は、中央階段を下から上からそれぞれのルートを自分流に回るとウォーキングやダイエットに最適、気分は爽快になること請け合いです。

《花守山遊歩道》

＊遊歩道距離：約800m・階段数465段

是非皆さん体験してみてください。それから、自分流に歩いてみて、「こんな歩き方もあるよ！」「こんな楽しみ方をしたよ！」など、「いろんな花守山の歩き方」を観光協会までお知らせ下さい！

最後に、ここまで読んでいただいて、本当にありがとうございました。

《感想・提案などございましたら自由にお書き下さい。》

●